

シリーズ街びと「わが道、わが仕事」

休日はクレープ屋さん【前編】

キッチンカーオーナー・平田有弥子さん

どちらの仕事を選ぶべきか

—もともと福祉の仕事を
されていたそうですね。

相談支援員をやっていた。サービス等利用計画を作成したり、モニタリングをしたり。常時40人は受け持っていました。グループホームの世話人も兼務していましたので、とにかく忙しかったです。楽しかったですけど、定時で帰れることは、ほとんどありませんでした。

—なぜ、キッチンカーの仕事をするように？

現実逃避したかった。もう



※開業前、研修に臨む平田さん

ストレスで疲れ果てていました。キッチンカーなんかやりたいよねえ、と同僚と冗談では話していました。なんとなく話していたに過ぎません。ある時、たまたまテレビで「かまいたちの小金持ちになりたいたいTV」という番組を見たんです。主婦が一念発起して、キッチンカーを始める内容でした。「私にもできるかも」。副業でやってみようと思いついたんです。

—すんなり決断できた？

本当に副業できるだろうかと、悩みました。そうこうしているうちに、仕事を辞めることになったんです。そこで本業として始めました。しかし、いざ始めるとソーシャルワーカーとしてのアイデンティティはどうなってしまうのかと悩む日々。クレープ屋さんでもいたいし、ソーシャルワーカーでもいたい。：果たして決断は（続く）

推しコメ（人物編）

（筆者：土方洋）

立花兄弟の人生



出典：TVアニメ『キャプテン翼』第37話

「なんじゃあ、こりゃあ」。キャプテン翼に登場する立花兄弟の伝説のシュート「スカイラブハリケーン」じゃ。血のにじむ努力で編み出した不思議な技も、翼にあっさりパクられ、最後は普通のシュートで逆転負け。この理不尽を乗り越え、周囲の支えで今も歩み続ける、この二人。

コラム「自問自答」

（筆者：よかた）

「挨拶が怖い！何を言っているんだと思われてもしたくない。だが、もしかすると共感する方もいるのではないだろうか▼話す（ども）ってしまう私は変なプライドもあってか人前で挨拶をすることが怖い。失敗したらどうしよう、言葉に詰まったらどうしようと思えば思うほど口は言うことを聞いてくれない。挨拶として成り立っているのだろうかと思うほど不格好な話し方になってしまう▼「言いたいことはちゃんと伝わっているよ」。以前職員さんに話し方のことで相談したときにいただいた言葉を思い出した。そうだった、私がいくら吃つていようと相手にはちゃんと伝わっているんだ。皆に挨拶をしようとすると気が持たない。そこに成功も失敗もない。外へ出かけると関わることによって成功というこの大切さを再認識した▼挨拶の形は人それぞれ。私は今日も明日もその先も、自信を持って自分なりの挨拶を皆に伝えたいと思う。

【気まぐれ欄】 今月のおすすめ本【Book Review】

※今月は読書好きメンバーによるおすすめ本の「書評」です。



『ミッドナイトスワン』

著者：内田 英治
出版社：文芸春秋
発行日：2020年7月8日

【評者：よかた】

ニューハーフのショークラブに身を置く凧沙は、育児放棄を受けていたバレリーナの一果を預かることに。はじめは一果を煙たい存在としていたが、次第に母性が芽生えてくる。絆を深め合う最中、凧沙たちのもとに一果の母親が現れる。「ただでさえ普通の女よりお金かかる体だよ」「女になって、母親になりたかった」。トランスジェンダーの方々の悲痛な叫び。神はなぜ、彼女らにこのような試練を与えたのだろうか。トランスジェンダーとして精一杯生き、もがき、幸せになろうとする人々を描いている。当事者はもちろん、そうでない人にも読んでいただきたい。



チャレジョブセンター熊谷

熊谷市桜木町1-7-9 武州熊谷駅前ビル3F

TEL：048-578-8401 FAX：048-578-8402

チャレジョブセンターHP

<https://challe-job.co.jp>

